

第64回小金井市新型コロナウイルス感染症対策本部会議録	日時	令和3年3月30日(火) 10:10～10:40	場所	議場
出席者	西岡市長、住野副市長、大熊教育長、高橋庁舎建設等担当部長、加藤総務部長、柿崎環境部長、中谷福祉保健部長、大澤子ども家庭部長、若藤都市整備部長、藤本生涯学習部長、北村議会事務局長、梅原企画政策課長、廣田広報秘書課長、宮奈地域安全課長、鈴木庶務課長、加藤市民課長、石原新型コロナウイルス感染症対策担当課長、檜山地域安全係長、健康係主査			
付議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 医師会から市民に向けたメッセージ 3 各部連絡事項 			
資料	<p>新型コロナワクチンについて その4 ～mRNA ワクチンって何？～</p> <p>リバウンド防止期間における東京都の対応</p> <p>発熱者検査センター等報告</p> <p>新型コロナウイルス感染症自宅療養者・濃厚接触者の方へ～生活必需品をお届けします～</p>			
<p>(進行：福祉保健部長)</p> <p>(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の新型コロナウイルスが増加傾向にある。小金井市も同様である。都の3月31日までの段階的緩和期間の後、4月1日から4月21日までのリバウンド防止期間が設定され、イベントの開催等の制限がある。地域の命と健康を守るため、しっかり感染対策をお願いしたい。 ・新型コロナのワクチン接種については連日協議を行っている。接種計画をしっかりとてて実施を円滑に行ってほしい。また自宅療養者への対策も行っている。きめ細やかな情報発信をお願いしたい。 ・庁内放送で私から職員にも呼びかけるが、職員課からもお願いしたい。 <p>(新型コロナウイルス対策担当課長。以下「コロナ対策担当課長」とする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種のリハーサルを4月14日に予定しており、医師会と調整中である。 ・「第63回会議録の3新型コロナウイルスワクチン接種会場について」の中で学校施設は、夏休みに使用しているが、ふつうの土日もある。 ・緑センターは、公民館館長と調整中である。 <p>(市長)</p> <p>高齢者フェーズが進むとワクチンの供給量が後半に増えていく想定になる。ワクチンの供給量を考慮していく必要もある。医師会と調整して後半に会場を増やすことも考えてほしい。</p> <p>(コロナ対策担当課長) コロナ担当大臣の話では、6月からは心配なく供給される予定である。次回の部会では、そのあたりを入れた計画を提示していきたい。医師会には、接種に参加</p>				

していただけるか伺っている最中である。

(市長) 予約する市民も徐々に増えていく可能性があるので需要と供給のバランスをよく考えていただきたい。

(コロナ対策担当課長) 医師会からのメッセージはHPに掲載する。その5をもって市民向けは終了になる。

(市長) コロナのツイッターアカウントも始めていただき、重要なので今後もよろしくお願ひしたい。

(福祉保健部長) HPに掲載したワクチンリハーサルの件で各地の自治体から問い合わせがたくさん来ている。職員もよく見て市民に伝達してほしい。

(コロナ対策担当課長) さらにバージョンアップしたものを準備中である。

(生涯学習部長) 市民部も含めた施設について。3月22日から3月31日までの段階的緩和期間は、3月23日の会議で報告したとおり、感染防止策をはかり、収容人数等の制限は継続したまま20時から21時までに延長した。4月1日から4月21日までのリバウンド防止期間も具体的制限内容は変わらないことから、21時まで開館の宮地楽器ホール、集会施設、公民館は制限を延長する。HP、SNS等で市民への周知をはかる。

(コロナ対策担当課長) (新型コロナウイルス感染症自宅療養者・濃厚接触者の方へ～生活必需品をお届けします～の) ちらしについて。保健所やコロナ対策を行っている医療機関に配布したい。必需品のお届けについては、委託業者と調整。

(市長) 自宅療養者は2週間だが、濃厚接触者の期間はどのくらいか。

(コロナ対策担当課長) どちらも14日間で対応。

(市長) 濃厚接触者は保健所が認めている？

(コロナ対策担当課長) 保健所が全てわかっているわけではないが、家族に濃厚接触者がいる人には、どこの保健所から言われているかは聞く。

(福祉保健部長) いつから？

(コロナ対策担当課長) 要綱もできているので現金なら本日から可能。業者に委託するのはどこまでか協議したい。できるまでは、健康課。

(地域安全課長) 都福祉保健局からコロナ禍における生活困窮者向けに生理用品の納品があった。1箱1080枚入りで5箱納品された。2箱は市教委。1箱は福祉協議会。2箱は健康課に配布。

(市長) お知らせの方法は？

(教育長) 校長会と連携する。

(コロナ対策担当課長) 健康課配布の2箱は1つがコロナで外出できない方のために、もう1つは健康課の母子関係。

(市長) 継続する？

(地域安全課長) 今回、東京都において平成27年に購入したものを放出している。今後の放出は未定。市の災害用はまだローリングの期間がきていないので、現時点においては厳しいと考

える。

(市長) 生活困窮者には継続的な取り組みを考えていただきたい。

(総務部長) 感染拡大防止のため、Cナビに職員向けのお知らせを出している。年度替わりで気の緩む時期なので再度Cナビに掲載する。感染防止のため、みなさんのご協力をお願いしたい。

(コロナ対策担当課長) 新型コロナウイルス感染症累計患者数等について。保健センターの発熱外来は、3月28日で25日間の稼働が終了した。

(市長) 発熱検査センターについては医師会の先生に感謝したい。地域の医療センターとしての開設意義がある。来年に備えなければいけないとも思う。この経験を活かしてほしい。

(副市長) 情報の整理等コロナチーム等には感謝している。情報発信をして(市が)動いていることを市民に知らせてほしい。どこかのタイミングで本部会議を開いて保健所や消防署とも情報共有したい。

(福祉保健部長) 本部の日程はどうか？

(コロナ対策担当課長) 接種開始前後で調整をしたい。

(教育長) 適切に情報発信すれば、齟齬はない。情報発信するまでが仕事である。参考にしてくれる自治体があることがうれしい。

以上

